



しらすぎ No.6

足立区立谷中中学校 発行日：令和6年6月19日

教育目標

- ・自ら学ぶ生徒
- ・豊かな心をもつ生徒
- ・たくましく生きる生徒

谷中中がめざす「授業」

2年生の数学の授業の一コマです。本校では通常の学級編成とは別に、1クラスの人数を減らし、かつ、単元ごとに生徒の学習状況に応じてクラスを編成する「少人数習熟度別」に数学の授業を展開しています。右の写真は「発展クラス」の様子です。**教室の前方**では、3人の生徒が先生の説明を聞いて、疑問に感じたところや、まだ自信のない問題について、荒川恵太先生と**直接話しながら**課題に取り組んでいます。



また、**窓側では気の合う仲間同士がグループ**になり、必要に応じて互いにポイントを確認しながら課題を進めています。さらに、**廊下側では個人で教科書を確認しながら、黙々と問題を進める**生徒たちがいます。荒川先生は今年度足立区の「スタンダード推進委員」を拝命していて、個別最適で協働的な学びや自由進度学習、ICT活用による業務効率化等を意識して授業をしています。

今回の授業のように**3つの形態を生徒が選択して学習**する時間が25分間確保されており、どのグループの生徒たちも、それぞれの目標を達成し充実した表情を見せていました。

一方「基礎クラス」では、昨年度に数学教育推進委員として、区の数学教育を推進した鈴木浩二先生が「**足立スタンダード**」を具体化する授業展開や視覚化・構造化した板書で、丁寧に一斉授業を行っています。そして「標準クラス」では、講師の中田先生が、**教科書をベースに多くの問題**に取り組み、生徒の「もっと学びたい」「数学って面白い」という知的好奇心を高めています。



生徒の興味や関心、得意や不得意を含めた学習状況に応じて、生徒が**自分で学習の形態や教材、方法を選択**する活動、課題を分析し解決の方法を既習事項から考え、仮説を立てて取り組む**探究的な学習**、一人一台端末を活用して調査したり、友達や先生と関わったりする中で**自分の考えを整理し深めて発表**したりする授業がここにあります。

このように、谷中中の授業は**3つの「わ」**（わくわく・わかる・わらいのある授業）を基軸に、**実社会とのつながりを実感する授業、学習者主体の授業、開き・深め・発信する授業**を追求しています。ぜひ24日（月）から始まる学校公開週間で、その一端でもご覧いただけたら幸いです。

さすが「3年生の掲示物」！

3年生のフロアには、5月に行った修学旅行のまとめを掲示しています。班ごとに**趣向を凝らした作品**はどれも見応え満点です。プレゼンテーションも制作中で、優秀作品は進路説明会の前に行う**学習発表会**にて発表します。3年生の**発信力**にもご注目を！



お・ね・が・い

校内ラリーウオーク

来週は学校公開週間（6/24～28）です。お越しの際は、お子様の授業の様子と合わせて、美術科や学年等による**掲示物もお楽しみ**ください。「これは見事ですね」「こんな場所どこにあるの」など様々なお声を寄せていただけたら幸いです。



「非行化防止キャンペーンコンサート」6/23（日）10時～体育館・「学校公開週間」にお越しの際は、**スリッパ**をご持参いただくとともに、**アンケートの回答にもご協力**ください。

校長 三輪 政継